



新宮小学校農業体験学習 ～いちごの郷物語～

9月28日に毎年行っているいちごの定植会を実施しました。新宮小学校3年生の児童が、いちご農家の人から苗の植え方や育て方を教わりながら、一人ひとり自分のポットにいちごを植えました。これから楽しく育てながら、町の特産品であるいちごについて学習を深めていきます。

指導してくれた農家の人たちは、「子どもたちが新宮町のいちごを好きになってもらえると嬉しい」と語っていました。



▲いちごの苗に興味津々の子どもたち

日々の努力で勝ち取った栄光！！



▲5人がベスト8位以上に入賞した武神会のみなさん

10月10日に大野城市立平野小学校体育館で、第45回全国空手形幼少年女子個人選手権大会が行われました。全国から191人が集まったこの大会には、町スポーツ協会所属の武神会が参加し、次のとおりの成績を収めました。

【幼少年・上級の部】

優勝 田中康裕(花立花)

【女子・上級の部】

第4位 高津真世(夜白4)

寄附をいただきました

10月6日に、福岡県立新宮高等学校生徒会から、寄附金をいただきました。

町の教育や社会福祉の充実に向けた取り組みの一助となるよう、文化祭の収益を町に寄附されたものです。

心から御礼申し上げます。町の貴重な財源として有効に使わせていただきます。



▲目録贈呈式の様子 左から教育長、町長、生徒会のみなさん

町内に珍しい蝶がやって来た！

立花口在住の人から、珍しくてきれいな蝶が飛来しているとの情報をいただいたので、10月21日に取材に行きました。蝶の名前は「アサギマダラ」といい、「旅する蝶」とも呼ばれています。秋になると本州から台湾や南西諸島に渡るそうで、秋の七草のひとつ「^{ふじばかま}藤袴」の蜜を求めて立花口運動公園付近にも寄り道していました。

羽は光に当たると^{あさぎいろ}浅葱色、胴体にはまだら模様が入っており「アサギマダラ」の名前どおりの姿でした。この日見た蝶も暖かい場所を求めて海を渡り、旅をするのでしょうか。小さな体で長距離移動するアサギマダラに魅了される人も多いのではないのでしょうか。



コロナ禍でも楽しんだ新宮町文化祭



▲陶芸

10月16日・17日の2日間にわたり、第27回新宮町文化祭が、そぴあしんぐうで開催されました。本年度は、緊急事態宣言が長く続き、サークル活動もできない日々が続きました。17日の舞台では、新宮高校吹奏楽部の演奏と、文化協会会員による日舞などの発表を行いました。

一般町民、学校および文化協会会員による作品展示や体験教室は、2日間を通して行われました。この時期にもかかわらず、予想を上回る来場者数となり、盛況のうちに幕を閉じました。同時に開催された俳句コンテスト投票もあり、大いに盛り上がりました。



▲日本舞踊 松美会



▲新宮北小学校の研究発表「全国の郷土料理」



地域の安全・安心のために

10月18日にクリエイト篠栗で粕屋地区地域安全大会が開催され、下府二区環境・防犯パトロール隊が、粕屋地区防犯協会長と粕屋警察署長の連名で感謝状を授与されました。

下府二区環境・防犯パトロール隊は平成14年に結成され、現在19人の隊員で日々、通学路での子どもの見守り活動や、新宮海岸や付近の松林の清掃活動、防犯パトロール活動を行っています。

江浦隊長は「今後も地域に密着し、コロナ禍でもお互い気をつけながら、町内における事件・事故の件数を1件でも減らせるよう活動を実施していきたい」と意気込みを語っていました。



▲受賞後の記念撮影
(左から江浦隊長、篠崎副隊長、長崎町長)

交通ルールを学んだよ！

町内の小学校・幼稚園・保育園で交通安全教室を開催しました。

交通安全教室では、講話やDVD視聴だけでなく、信号機や模擬交差点を使用して、実際の場面を想定した指導が行われました。

幼稚園・保育園児と小学1年生は、正しい横断歩道の渡り方や信号のルールを確認し、小学4年生は、安全な自転車の乗り方や点検の仕方などを学びました。

講師を務めるレインボーモータースクール福岡の指導員や新宮町交通安全指導員のみなさんの「手をあげよう」「車は来ていないかな」といった声かけのもと、子どもたちは正しい交通ルールを学びました。



▲右から車は来ていないかな？



▲青になった！気をつけて渡ろう